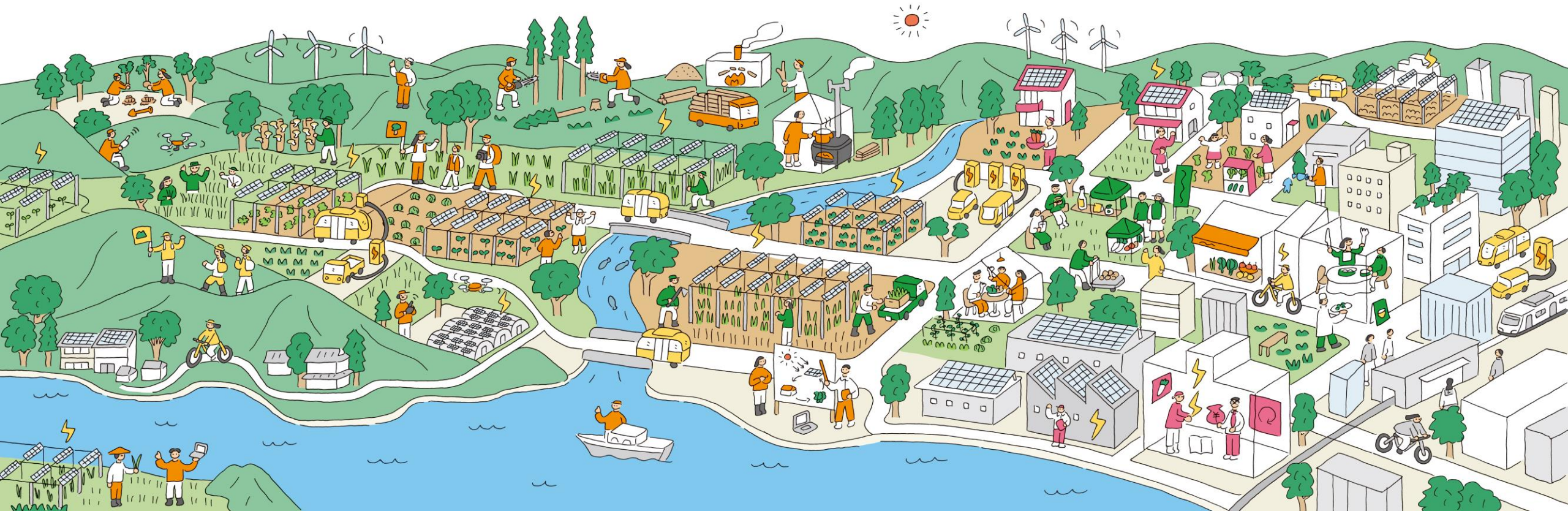


ベトナムにおけるソーラーシェアリングの可能性

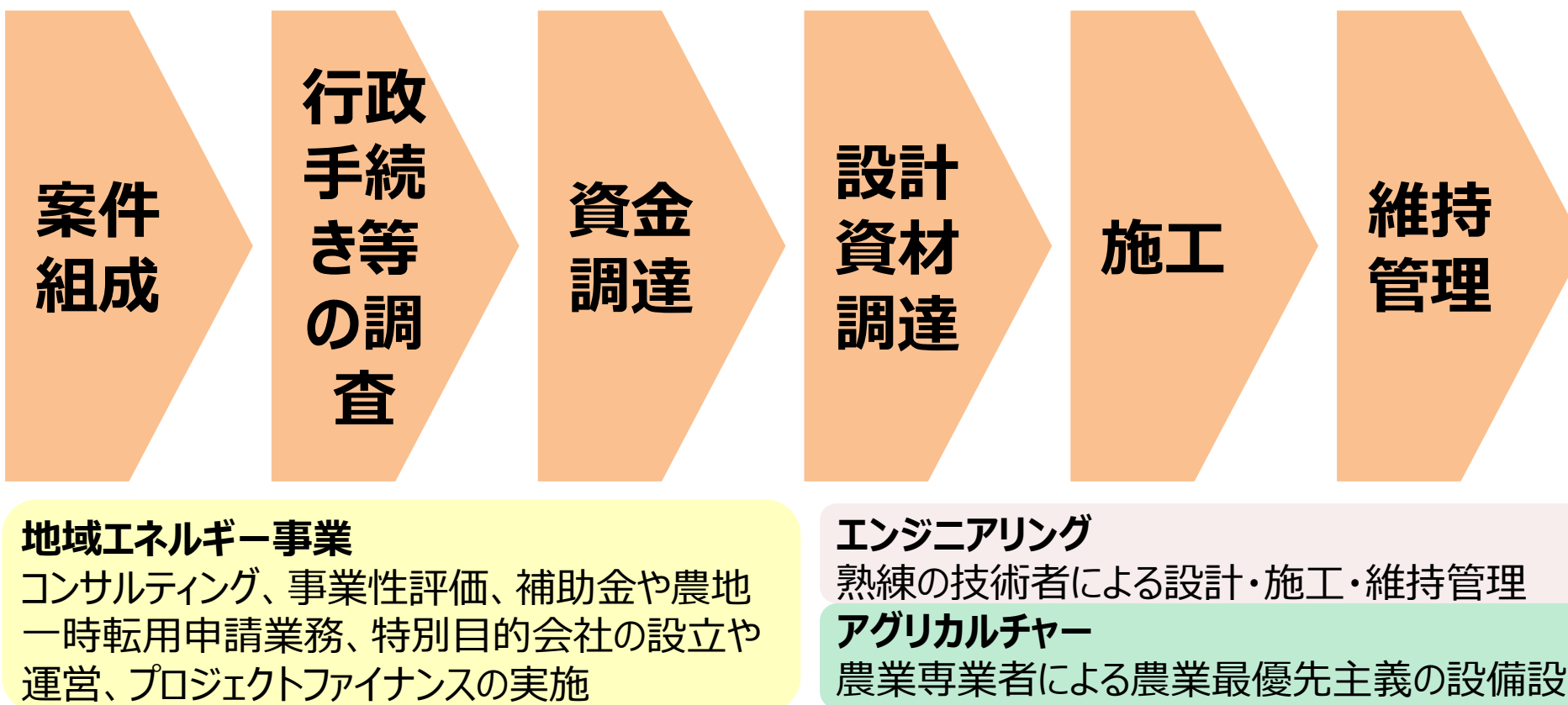


2024年2月17日(土)
ソーラーシェアリング推進連盟 / 株式会社アグリツリー
西 光司

【会社概要】

- 社名：株式会社 アグリツリー
- 所在地：福岡県那珂川市中原二丁目120番地 博多南駅前ビル3階
- 設立日：2018年7月27日
- 役員：代表取締役 西 光司、取締役 政時 巧一
- 従業員数：7名（福岡県、山口県、ベトナム国ホーチミン市）
- 許認可：電気工事業、一般建設業
- 関連地域エネルギー会社：合同会社有機の里（山口県下関市）、合同会社匝瑳おひさま発電所（千葉県匝瑳市）、なかがわ市民エネルギー（福岡県那珂川市）

ソーラーシェアリングのプロジェクトマネジメント



一気通貫で提供することによりリーズナブルな地域共生型再エネを供給可能に

南北1,700kmが織りなす多様な営農形態

ベトナム全体マップ

エリア

農業タイプ



ハノイ近郊

- 都市近郊型農業
 - 野菜メイン (葉物・キュウリ・トマト)

北部沿岸

- 四季を生かした農業
 - 野菜・果物メイン

中部高原

- 高付加価値農業
 - 冷涼気候を生かした高原作物
- 世界屈指のコーヒー産地

ホーチミン近郊

- 都市近郊型農業
 - 野菜メイン (葉物)

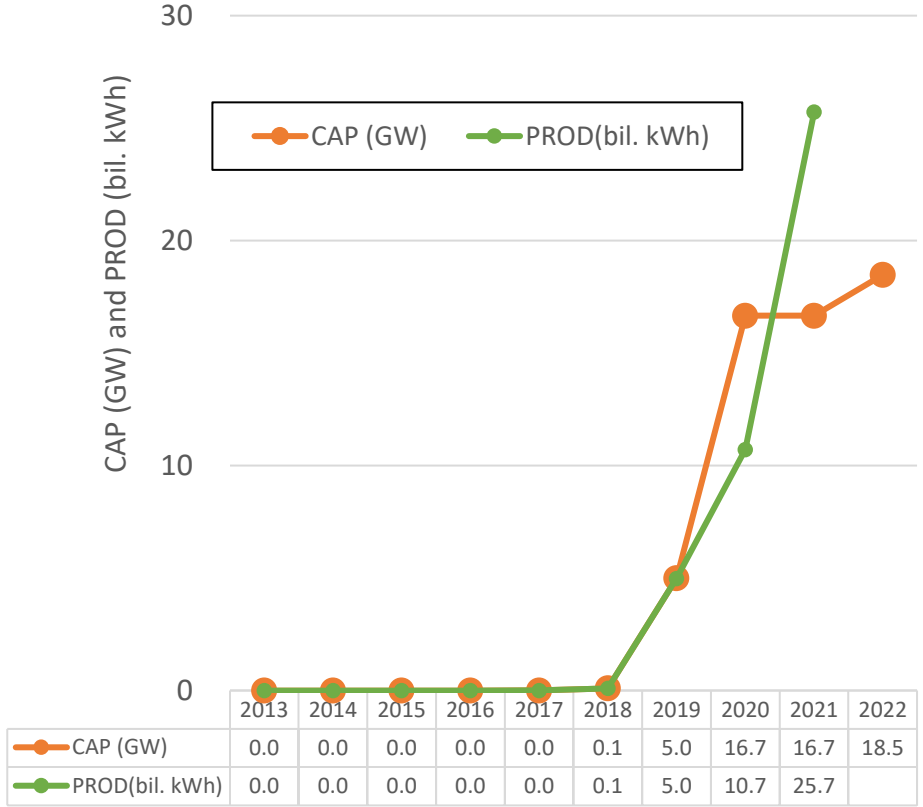
メコンデルタ

- 南国農業
 - 豊富な水と日照量
 - コメ・果物・花き

現時点でのベトナムでの展開予定

- ✓ ベトナムにおける太陽光発電はFeed in Tariffの導入により2019年から導入が進んだが、非常に加速的に進んだために系統に負荷がかかり、現在では出力抑制が実施されている地域もあり、系統連系が困難な状況である
- ✓ 将来Direct PPAや民間JCM等の制度を活用し、大規模なソーラーシェアリングの展開を行うために、ベトナム国家農業大学とカントー大学に実証設備を設置し、ソーラーシェアリングに適した農作物の試験栽培を行う。また電力需要が大きい稚エビの養殖やお茶の栽培・加工場へ完全自家消費モデルの提案も行っていく。

【ベトナムの太陽光発電導入容量と発電量】



【稚エビの養殖とお茶の栽培・加工場】



※出典：[IRENA Renewable energy statistics 2023](https://www.irena.org/en/publications/2023/01/renewable-energy-statistics-2023)

2021

2022

2023

JICA ニーズ確認調査

・机上調査

環境省 都市間連携事業 福岡県 x ハノイ (R3~R5年度)

・ハノイ市での事業化検討協議 & ベトナム国家農業大学との関係構築

JICA ビジネス化実証事業 (23年6月~24年9月)

① **事業計画作成**

- ・基礎調査 (法令、仕入先リストなど)
- ・各所へヒアリング & 事業説明
(顧客、行政、電力公社、金融機関)

② **実証実験の設計確定**

2024

2025

2026

・現地法人設立予定 @カントー市

・実証実験設備建設予定

- 北部のベトナム国家農業大学で水稲、しょうが、大豆、薬草
- 中南部のラムドン省お茶農業法人でお茶
- 南部のカントー大学でエビの養殖、果物の苗

・実証実験開始

・マーケティング開始

・SSの販売開始

以上、ありがとうございました

一般社団法人ソーラーシェアリング推進連盟 / 株式会社アグリツリー

西 光司

080-9875-0942

nishi.koji@agritree.jp

<https://www.agritree.jp/>